

泌尿器科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 当科における転移性尿路上皮癌の治療成績＝dose modification の効果＝

[研究機関] 北海道大学病院泌尿器科

[研究責任者] 篠原 信雄 （泌尿器科・准教授）

[研究の目的]

転移性尿路上皮癌に対する導入化学療法としてCisplatin-Base化学療法MVACは標準的治療とされています。しかし、腎盂腫瘍術後の単腎症例や長期化学療法による腎機能障害が治療の継続を困難にしていることが問題点とされています。当科では治療前の腎機能に合わせて、化学療法で行われる薬の量を調節しています。今回の研究は、転移性尿路上皮癌に対して化学療法を施行した患者さんを対象にdose modification(薬剤量の調節)の治療効果とその予後を後ろ向きに研究する事を目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1988～2009年に北海道大学病院泌尿器科にて転移性尿路上皮癌と診断され、全身化学療法が施行された患者さん

●利用するカルテ情報

1. 年齢、性別、診断名、患者背景、
2. 身体所見、血液検査結果、画像診断情報、治療内容
3. 手術関連情報、病理組織結果情報
4. 患者の予後、最終転帰に関するデータ

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目
北海道大学病院泌尿器科 担当医師 丸 晋太郎
電話 011-706-1161 (内) 5949 FAX 011-706-7853